

中部関西間連系線（関西向）の運用容量については、中西地域周波数低下事象への対応により、2017年10月より減少させている。その際、2017年度4月～8月の計画潮流（翌々日計画、翌日計画）実績から混雑※1発生率、市場分断※2発生率を想定した。（参考）

2017年度の10月～3月の混雑発生状況、市場分断発生状況を確認した結果、混雑発生率は0.1%、市場分断発生率は1.7%で、ほぼ当初の想定とおりの影響であり、中西地域周波数低下事象への対応を継続する。

今後も引き続き、混雑、市場分断発生状況について注視していく。

※1 空容量「0」のコマを混雑として算出

※2 JEPXの「スポット市場取引結果」より連系線の両端のエリアプライスが異なっているコマを市場分断として算出

前々日（翌々日計画策定時）混雑発生実績

| 2017年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 混雑発生率 (%) |
|--------|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----------|
| 平日（コマ） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.1 |
| 休日（コマ） | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | 0 | 10 | |
| 合計（コマ） | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | 0 | 10 | |

市場分断発生実績

| 2017年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 市場分断発生率 (%) |
|--------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-------------|
| 平日（コマ） | 0 | 21 | 17 | 12 | 44 | 29 | 123 | 1.7 |
| 休日（コマ） | 0 | 1 | 0 | 2 | 22 | 1 | 26 | |
| 合計（コマ） | 0 | 22 | 17 | 14 | 66 | 30 | 149 | |

2017年4月～8月の計画潮流(翌々日計画、翌日計画)に見直した運用容量を適用した場合、混雑発生率は0%、市場分断率は1.7%となった。

2017年度第2回運用容量検討会資料2-1 (抜粋)

